

## 飯山市水道事業経営戦略

《経営戦略》 公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための「中長期的な経営の基本計画」  
 ～ 投資・財政計画（収支計画） ～

○計画期間： 令和元年度（2019年度）～令和10年度（2028年度） ※令和5年度（2023年度）は中間年次の見直し実施

- <投資計画>
- 老朽施設更新対策 【更新基準年数及び重要度・優先度を考慮した施設更新】  
 水道管総延長 380km（232km＝40年～70年で更新。148km＝事後保全）  
 当面40年間の整備 総額：約101億円（施設，管路＝93km）※重要給水施設（病院・避難所）への管路整備  
 [前期20年平均1.6億円/年（管路14km）、後期20年平均4.0億円（管路79km）]
  - 漏水調査、修繕 【目標有収率：70% 令和10年度（2028年度）】  
 5水系別（秋津・木島・瑞穂・外様・太田）に漏水量の多い水系から順次漏水調査、修繕を行う。[R6～R10]  
 漏水調査の民間委託実施（3,500千円/年）
  - 有尾浄水場解体、改築整備（R6：一部解体、R7～R8：改築工事）
  - 水道施設の詳細耐震診断〔配水池：全15施設の内、計画期間で数施設実施。〕（14,000千円/年）

- <財政計画>
- 給水収益  
 給水人口予測において、経営面でより安全側となる条件設定とする。（給水収益減少を見込む）
  - 有尾浄水場  
 令和6年度（2024年度）一部解体、令和7年度（2025年度）～令和8年度（2026年度）改築工事  
 令和6年度解体工事に伴い、令和6年度の「収益的収支」で赤字が発生する見込み。

## 【財政シミュレーション】

- ・料金回収率は、令和12年度（2030年度）に100%を下回る見込み
- ・経常収支比率は、令和15年度（2033年度）に100%を下回る（赤字転落）見込み

料金回収率＝供給単価／給水原価

※本計画期間内で料金改定の必要はないが、料金改定に向けて準備が必要。